

各派代表質問

代表質問は3人以上の議員で構成される会派の代表が行います。
3月2日には、5つの会派を代表する議員が、市政全般にわたるさまざまな質問を行いました。
ここでは、それぞれの議員がいくつかの質問をした中から、代表的な項目を選んで、質問と答弁の要旨を掲載しています。



新和会



津田 新三

カーボンニュートラルの実現

問 2050年カーボンニュートラルの実現に向けたロードマップや推進体制は

答 2030年度に向け、市環境基本計画で定めた温室効果ガスの削減目標達成のため、市が率先して取り組むとともに、市民や事業者への普及啓発などを行う。また、市環境施策推進本部において取り組みの推進を図るとともに、市民、事業者、市が協働して設立した「おおつ環境フォーラム」を中心に、3者が連携して取り組みを推進していく。

コロナ禍を踏まえた 大津市生涯学習推進計画の策定

問 コロナ禍による生涯学習の機会の減少や、それに伴うつながりの喪失など、市民の生涯学習の環境が大きな影響を受けた。次期生涯学習推進計画において、この部分を補完し、充実させることについての見解は

答 従来からの学びの環境に加え、ICTの活用により「いつでも」「どこでも」「誰でも」学べる環境を整備し、コーディネーターの育成や多様

な主体との連携・協働の推進を計画に位置付け、学習機会の確保、つながりづくりへの支援の充実に努める。

大津市行政改革プラン2021

問 本プランの行政改革の取り組み姿勢について、「コストダウンや組織のスリム化」と「持続可能な都市経営」のバランスの図り方は

答 持続可能な都市経営を進めるには、行政改革を避けては通れないが、市民サービスの観点からは適切な業務遂行や不測の事態に対応可能な人員配置に努める必要があると考えている。コスト削減のみにとらわれず、業務の在り方やさまざまな課題などとのバランスを考慮し、効果的、効率的な行政改革に取り組む。

湖西台開発促進協議会の発足と事業化に向けた将来展望

問 市西北部の持続可能なまちづくりの起爆剤となり得る湖西台の事業化に向け、将来展望を含めた利活用方針および整備手法を早期に打ち出すべきと考えるが、本協議会の発足に対する認識と合わせた見解は

答 地域住民の皆さまが、湖西台の利活用は今後の地域発展の根幹になると期待されている表れと認識しており、今後の経済情勢などを踏まえ、適切な時期を見極めて土地利用に向けた調査の実施を検討していく。

良質で安全な医療提供体制の確保と不安払拭に向けた対応

問 令和4年2月にあつた地方独立行政法人市立大津市民病院における医師の大量退職に関する報道により、市民や患者が不安を感じており、感染症医療提供への影響も懸念される。不安払拭のため、病院設置者としてあらゆる手段を講じるべきと考えるが、その方針は

答 本来、本病院の業務運営は法の規定に基づき法人が自律的に行うべきだが、地域医療を維持する観点から、設置者として全力を尽くしていく。また、滋賀県全域の感染症医療提供体制の維持に向け、滋賀県知事に対し、感染患者の受け入れに影響が出る恐れがあることを報告し、県の協力を要請したところである。



その他の質問 令和4年度予算
庁舎整備 交通ネットワークの充実
歴史的風致維持向上計画の推進

※2050年カーボンニュートラル
2050年までに二酸化炭素などの
温室効果ガスの排出を全体とし
てゼロを目指す取り組みのこと

クリック to リンク

HP → インターネット議会中継 → 録画映像へ
→ 令和4年2月通常会議 → 3月2日

